

管制官についての基礎的職務規範の徹底を図るため、管制官が遵守すべき規律や心得等の具体的内容について、現場管制官から募集した素案も踏まえ、「航空管制官組織理念」及び「航空管制官行動規範」としてとりまとめた。これらをカード大のサイズの紙に印字し、平成24年1月、各現場において先任航空管制官から各管制官にカードが手交され、現在は各管制官が常時携帯している。

航空管制官組織理念



【安全の追求】

私たち航空管制官は、国民から託された職責の重さを自覚し、常に高い安全意識を持って業務を遂行することにより、空の安全を確保することがもっとも重要な使命と心得ています。

【誇り】

私たち航空管制官は、常にプロフェッショナルであり続けるとともに、航空機の安全運航の重要な役割を果たしていることに高い誇りを持ち、慢心することなく質の高い管制業務を提供します。

【信頼される公務員として】

私たち航空管制官は、国家公務員として法令を遵守し、高い倫理観をもって、公正かつ誠実に社会的責任を果たすとともに、真摯な取り組みを日々実践し、国民から信頼される組織を目指します。

航空管制官行動規範

1. 私は、国家公務員であることを自覚し、法令に従い、公正に職務の遂行にあたります。
2. 私は、初心を忘れず、常に自分の行動を振り返り、改善のための努力を惜しみません。
3. 私は、言動、身だしなみに気をつけ、周りとの調和を考えながら行動します。
4. 私は、航空機の安全運航を支えるスタッフの一員であることを自覚し、常にサービスを受ける側の視点に立つことを心がけます。
5. 私は、安全かつ効率的な管制業務が国民の利益につながることを忘れず、日々の自己研鑽に励みます。
6. 私は、航空管制官としての誇りと責任を持ち、航空機の安全確保を最優先に業務を実施します。
7. 私は、安全文化の構築のため、広い視野を培うとともに、常に謙虚かつ柔軟であり続けます。